

第2回ひょうたん島川の駅ワークショップ まとめ

1. 概要

第2回ひょうたん島川の駅ワークショップの概要を以下に示す。

表 1 第2回ワークショップの概要

項目	内容	備考
開催日時	2013年5月25日(土) 午前10:00~14:30	
開催場所	ひょうたん島周辺	
集合場所	万代中央ふ頭	
参加者	一般参加者：保護者13名・子ども14名・協力団体24名・スタッフ14名 昼食準備者：3名・メディア：3名(計：71名)	
協力団体	NPO法人新町川を守る会、NPO法人アクア・チッタ、万代中央ふ頭にぎわいづくり協議会、とくしま観光ガイドボランティア会、徳島県商店街組合連合会青年部(お魚はっとり・ハッツ)、徳島市市民活力開発センター、四国大学フレンドリーキッズサークル	
配付資料等	プログラム・アンケート調査票・塩飴(熱中症対策)	
プログラム	<ol style="list-style-type: none"> はじめに はじめのあいさつ 本日の予定 ひょうたん島クルーズ ひょうたん島クルーズを楽しもう ガイドボランティアの案内を聞こう 川の駅候補地周辺で体験してみよう① アクア・チッタのイベントに参加 「水辺のまちをつくろう！」創作教室 川の駅候補地周辺で体験してみよう② 両国橋袂ポンツーンで、みんなでお昼ご飯を食べよう 川の駅候補地周辺で体験してみよう③ 四国大学フレンドリーキッズサークルによる親子体験イベントに参加 おわりに 今日のふりかえり アンケート回答・回収 おわりのあいさつ 	3. →4. →5. →6. は、すべて周遊船により移動した

2. ワークショップの様子

【はじめに】



写真1 はじめのあいさつ



写真2 本日の予定紹介

【ひょうたん島クルーズ】

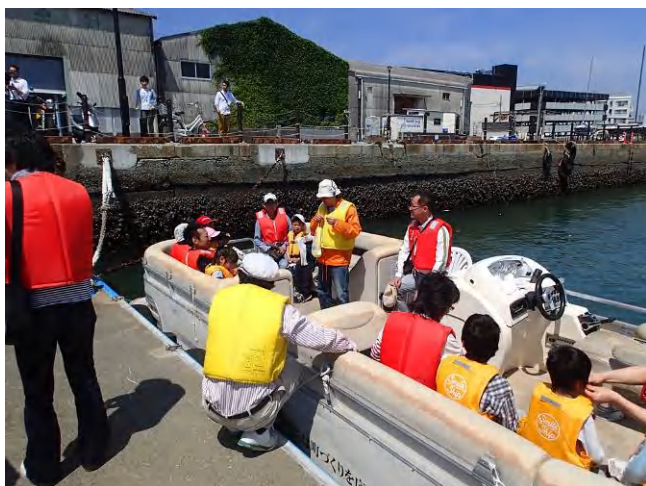


写真 3 新町川を守る会の周遊船に乗り込む



写真 4 とくしま観光ガイドボランティア会の案内

【川の駅候補地周辺で体験してみよう①】「水辺のまちをつくろう！」創作教室



写真 5 アクア・チッタによる創作教室



写真 6 親子で「水辺のまち」のパーツを制作



写真 7 みんなで水辺のまちづくり



写真 8 みんなでつくった水辺のまちで記念撮影

【川の駅候補地周辺で体験してみよう②】 両国橋袂ポンツーンで、みんなでお昼ご飯を食べよう



写真 9 ビュッフェ式の徳島産素材による料理



写真 10 はっとりさんよりチョイスの魚を紹介



写真 11 料理をセルフでチョイス



写真 12 ポンツーン（浮き桟橋）でお昼ご飯

【助任橋袂に着岸の様子】



写真 13 助任橋袂での着陸準備の様子



写真 14 助任橋袂に着岸

【川の駅候補地周辺で体験してみよう③】四国大学フレンドリーキッズサークルによる体験イベント
公園内を探索して、ワードを完成させよう（答えは「ひょうたん」）



写真 15 体験イベントのはじまり



写真 16 ワード集めのクイズに挑戦



写真 17 真剣にクイズの答えを探す



写真 18 答え合わせしてプレゼントをもらう

【助任橋袂から離岸の様子】



写真 19 助任橋袂から乗船中



写真 20 無事に離岸して万代中央ふ頭を目指す

【万代中央ふ頭に着岸の様子】

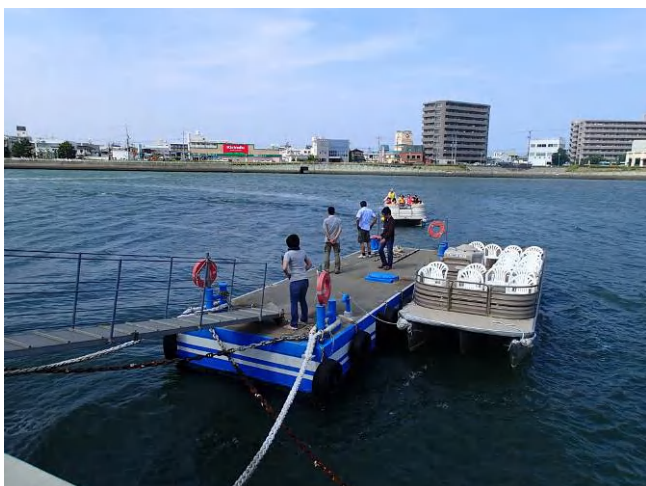


写真 21 万代中央ふ頭にぎわいづくり協議会により着岸準備



写真 22 無事に着岸して上陸中

【おわりに】



写真 23 アンケート回答中



写真 24 おわりのあいさつ

3. ワークショップ検証

第2回ワークショップの検証は、アンケート調査により行った。
アンケート調査結果は、別紙参照。

4. 【参考】ワークショップ参加者からのお便り

郵便はがき
〒770-8074
徳島市ハコ町下福5180-15
株式会社 エフ設計コンサルタント 御中
きどもおくれてくれて
ありがとうございます。
また、しゃげいを
してくださいます。
まっています。

踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら踊らな損々

こんにちは。記事の送付ありがとうございます。
ひつぜん島のイベント、とっても楽しく、いい思い出
になります。このようなイベント、ぜひまた企画して下さい
ね。親子でぜひ参加したいです。
お土産、すっかり无いです!! 本当にありがとうございます。

阿波踊り

第2回ワークショップアンケートまとめ

1. 概要

第2回ワークショップアンケートの概要を以下に示す。

表 1 アンケート調査の概要

項目	内容	備考
実施日	2013年5月25日(土)ワークショップ終了後	
調査対象者	ワークショップ参加者：保護者13名(回答12名)・子ども14名 ワークショップ受入団体：5団体・25名	
アンケート調査項目 (保護者用)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今日のワークショップは楽しかったか(択一回答) 2. ひょうたん島クルーズはどうだったか(複数選択) 3. アクア・チッタイベントは楽しかったか(択一回答) 4. 万代倉庫および万代中央ふ頭周辺で希望する活動(記述回答) 5. 万代中央ふ頭周辺が川の駅になったら何を望むか(記述回答) 6. 両国橋袂での昼食はどうだったか(複数選択) 7. 両国橋袂周辺の川の駅として望むこと(記述回答) 8. 助任橋袂は船着き場としてどうだったか(択一回答) 9. 四国大学の学生イベントはどうだったか(択一回答) 10. 助任橋袂周辺で希望する活動(記述回答) 11. 助任橋袂周辺が川の駅になったら何を望むか(記述回答) 12. 万代中央ふ頭の起点終点は どうだったか(択一回答) 13. 問12で良かったと回答した人→何が良かったか(記述回答) 14. 問12で良くなかったと回答した人→良くなかった点(記述回答) 15. 団体が連携したWSに参加したいか(択一回答) 16. 参加費としてどのくらい支払うか(択一回答) 17. 今回のWSへの感想(記述回答) 18. 改善が必要なところ(記述回答) 	調査票参照
アンケート調査項目 (子ども用)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今日は楽しかったか(択一回答) 2. 何が楽しかったか(複数選択) 3. 船に乗ってよかったところ(記述回答) 4. 川の近くでのお昼ご飯では何が美味しかったか(記述回答) 5. また参加してみたいか(択一回答) 6. 今度はどんな遊びがあったら良いか(記述回答) 	調査票参照
アンケート調査項目 (協力団体用)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全体の取り組みで良かったところ(記述回答) 2. 今回のWSの改善点(記述回答) 3. 川の駅ネットワーク構想に必要なこと(記述回答) 4. 他の活動団体と連携したいか(複数選択) 5. 活動連携に必要なこと(記述回答) 6. 自分の団体が川の駅ネットワークに貢献できること(記述回答) 7. 所属団体と氏名(記述回答) 	調査票参照
配付・回収方法	ワークショップ終了後に配付・実施・回収	
回答率	保護者：92.3%・子ども：100%・協力団体：100%	

2. アンケートまとめ（保護者用）

1) 今日のワークショップは楽しかったか？

問1では、ワークショップが楽しかったかどうかについて回答を促した。

回答者12名中、とても楽しかった58%(7名)、楽しかった42%(5名)と、回答者の100%が楽しく参加できたとことが伺える。

2) ひょうたん島クルーズについて

問2では、ひょうたん島クルーズについて、複数回答を促した。

川の周遊そのものが楽しかったと答えた人が12名中11名となっており、周遊船の満足度の高さが伺える。また、川から見る景色が良かったと答えた人が12名中11名となっており、川から見る景色の満足度も高いことが伺える。

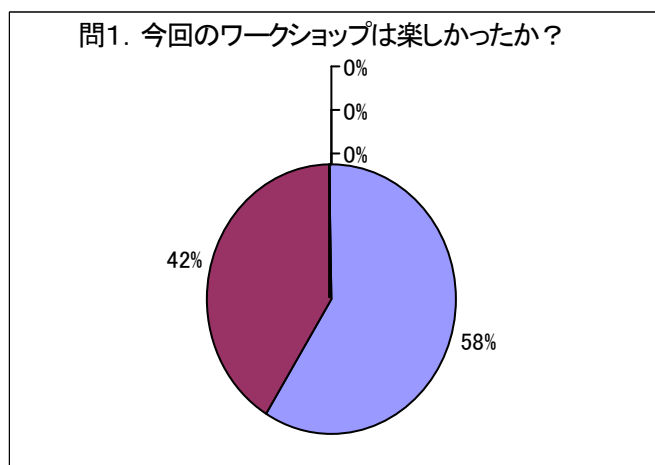
今回のワークショップで試みた、とくしま観光ガイドボランティア会の協力による周遊船でのひょうたん島案内については、12名中6名が良かったと答えており、参加者の半数は満足したものと思われる。

ひょうたん島の歴史を知ることができたと答えた人は12名中3名となっている。参加者の1/4は、案内ガイドによるひょうたん島案内に満足したことが伺える。

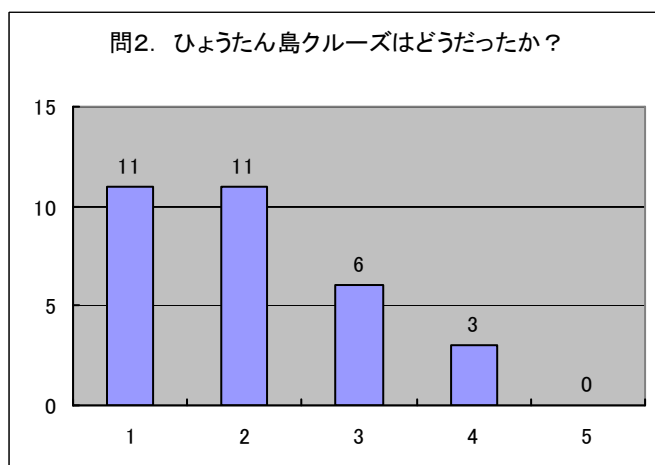
3) アクア・チッタのイベントは楽しかったか？

問3では、万代倉庫でのアクア・チッタのイベントが楽しかったかどうかについて回答を促した。

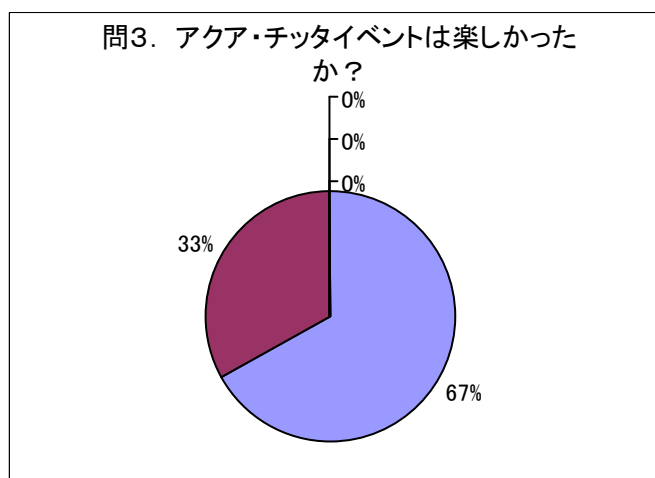
回答者12名中、とても楽しかった67%(8名)、楽しかった33%(4名)と、回答者の100%が楽しく参加できたとことが伺える。



1. とても楽しかった(15名)
2. 楽しかった(9名)
3. ふつう(0名)
4. あまり楽しくなかった(0名)
5. 楽しくなかった(0名)



1. 川の周遊が楽しかった(11名)
2. 川から見る景色が良かった(11名)
3. 案内ガイドさんがいるのは良かった(6名)
4. ひょうたん島の歴史を知ることができた(3名)
5. その他感じたこと(0名)



1. とても楽しかった(8名)
2. 楽しかった(4名)
3. ふつう(0名)
4. あまり楽しくなかった(0名)
5. 楽しくなかった(0名)

4) 万代倉庫および万代中央ふ頭周辺で希望する活動

問4では、万代倉庫や万代中央ふ頭周辺で、今後、どのような活動を希望するかについて記述回答を促した。

表2 万代倉庫および万代中央ふ頭周辺で希望する活動

キーワード	記述回答(要約)
子どもと楽しむイベント	<ul style="list-style-type: none"> ・親子が参加して楽しめるイベント(3名) ・子どもとまちづくりを考えるイベント ・木工教室など子ども向けイベント ・今回のような創作教室
人の集まるイベント	<ul style="list-style-type: none"> ・人の集まるイベントを提案してほしい ・景色を見ながら気軽に参加できるバーベキュー大会 ・フリーマーケットなどが良い(2名)
音楽・アート	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽イベント ・アートイベント
周辺の自然活用	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の大切さを伝えるイベント ・ウォークラリーなど周辺景観を活用したイベント ・魚釣り
倉庫活用	<ul style="list-style-type: none"> ・倉庫を活用した催し

5) 万代中央ふ頭周辺が川の駅になったら何を望むか

問5では、万代中央ふ頭周辺が川の駅になった場合、どのような川の駅になることを望むかについて記述回答を促した。

表3 万代中央ふ頭周辺が川の駅になったら何を望むか

キーワード	記述回答(要約)
周辺施設との連携 場の特質を活かす	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺施設と連携した楽しめる川の駅 ・万代中央ふ頭でなければ体験できない何かがある川の駅 ・駐車場の活用 ・徳島駅前とこの場所をつなぐイベント ・魚が泳ぐ川の駅
産直販売	<ul style="list-style-type: none"> ・地元品の販売 ・産直品販売
ロケーションを活かした建物	<ul style="list-style-type: none"> ・ロケーションを活かした建物
くつろげる場所	<ul style="list-style-type: none"> ・食事やお茶ができて、のんびりくつろげる川の駅
イベント会場	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント会場
無料駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・無料駐車場があれば利用しやすい

6) 両国橋袂での昼食はどうだったか

問6では、両国橋袂ポンツーン(浮き桟橋)での昼食について、複数回答を促した。

川沿いで気持ちよかったと答えた人が12名中12名と、全員の回答を得られた。また、浮き桟橋で食べるのが楽しかったと答えた人が12名中8名となっており、川沿いの浮き桟橋での昼食は、参加者の満足度が高いことが伺える。

メニューが良かった、味が良かったと答えた人は、12名中それぞれ5名ずつとなっている。

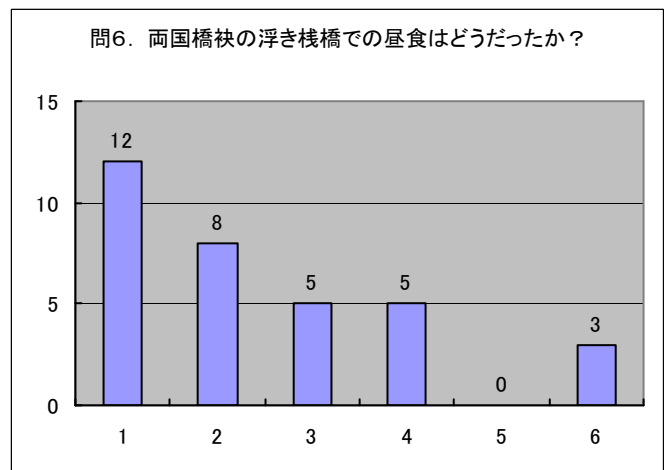
また、量がちょうど良かったと回答した人は0人で、これは、子どもの参加により、食べる量が少なかったことから、準備した量が多く、余り物が出たことに起因するものと思われる。ビュッフェ形式の場合は、人数より少な目に準備することが望まれる。

その他の意見として、3名が記入しており、味が少し辛かった、時間が短かった、デザートと焼き魚がとても美味しかったといった意見が記載されていた。

デザートと焼き魚がとても美味しかったという意見は、メニューが良かった、味が良かったという回答に位置づけられるものであり、それを強調した好意的な意見であると伺える。

味付けについては、個人差があるため、一概に味が辛かったとは言い難い。

昼食時間は、子どもの体験活動時の危険防止対策として、子どもが飽きない時間設定としたが、保護者にとっては、川沿いでの昼食をゆっくり味わいたかったという気持ちの表れで、時間が短かったという意見になったと推察する。



1. 川沿いで気持ちよかった(12名)
2. 浮き桟橋で食べるのが楽しかった(8名)
3. メニューが良かった(5名)
4. 味が良かった(5名)
5. 量がちょうど良かった(0名)
6. その他(3名)

7) 両国橋袂周辺の川の駅として望むこと

問7では、両国橋袂周辺が川の駅となった場合、どのような川の駅になることを望むかについて記述回答を促した。

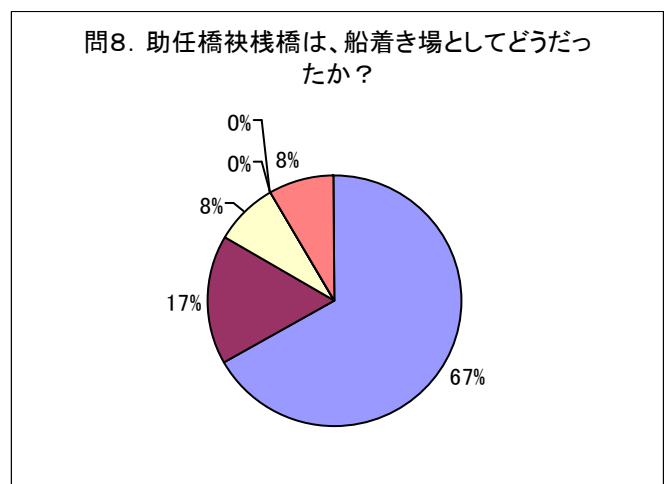
表 4 両国橋袂周辺が川の駅になったら何を望むか

キーワード	記述回答(要約)
中心基地	・今後も引き続き発着場所として「川の駅」の中心になって欲しい ・街の川の駅
公共アクセスとの連携	・川の駅を「交通の1つの手段」と考えるなら、川の交通の1つの拠点となる様に他の交通(公共)とのアクセスを容易に ・駅前に来たらついでに乗って帰るような、気軽な乗り場
ナイトクルーズ	・LEDとあわせて、夜のクルーズも楽しいかも
魚のいる川の駅	・水の澄んだエイの泳ぐ楽しい川の駅
現状維持	・今で十分と思います

8) 助任橋袂は、船着き場としてどうだったか

問8では、助任橋袂での船の乗降を通して、船着き場としてどうだったかについて回答を促した。

改善は必要だが船着き場として良い場所であると答えた人が67%(8名)、改善は必要だが船着き場としてまあ使えると答えた人が17%(2名)となっており、改善は必要であるものの、船着き場としての利用に期待していることが伺える。



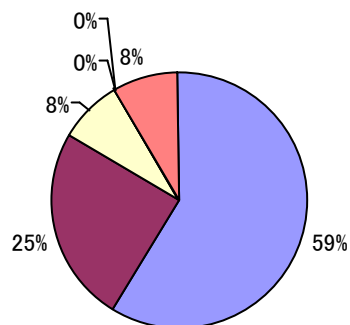
1. 改善は必要だが船着き場として良い場所(8名)
2. 改善は必要だが船着き場としてまあ使える(2名)
3. わからない(1名)
4. 改善しても船着き場には無理がある(0名)
5. 船着き場には向いていない(0名)
6. 無回答(1名)

9) 四国大学の学生イベントはどうだったか

問9では、四国大学フレンドリーキッズサークルの学生によるイベントについて楽しかったかどうかについて回答を促した。

回答者 12 名中、とても楽しかった 59% (7名)、楽しかった 25% (3名) と、回答者の 84% が楽しく参加できたということが伺える。

問9. 四国大学サークルのイベントは楽しかったか？



1. とても楽しかった(7名)
2. 楽しかった(3名)
3. ふつう(1名)
4. あまり楽しくなかった(0名)
5. 楽しくなかった(0名)
6. 無回答(1名)

10) 助任橋袂周辺で希望する活動

問10では、助任橋袂周辺で、今後、どのような活動を希望するかについて記述回答を促した。

表 5 助任橋袂周辺で希望する活動

キーワード	記述回答 (要約)
子どもと楽しむイベント	・子供参加型イベント ・バーベキュー
公園の活用	・ウォークラリー ・水辺の生物の観察会 ・魚釣り ・ザリガニ釣り ・城や貝塚等を用いた歴史とまちづくりを考えるイベント ・公園を用いた今回のような身体を使うイベント
音楽イベント	・音楽イベント
阿波踊り	・参加型の有名連の阿波踊り (練習でもOK)
スタンプラリー	・スタンプラリー

11) 助任橋袂周辺が川の駅になったら何を望むか

問11では、助任橋周辺が川の駅になった場合、どのような川の駅になることを望むかについて記述回答を促した。

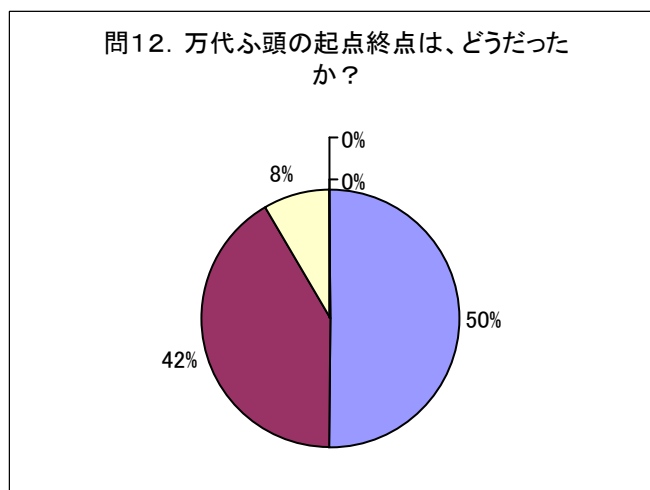
表 6 助任橋周辺が川の駅になったら何を望むか

キーワード	記述回答 (要約)
緑と水の川の駅	・みどりと水のきれいな川の駅 ・水上、山上両方楽しめる川の駅
中央公園と連携	・公園で運動 ・スポーツウォーキング ・中央公園へのアクセスが良い
周遊船の発着場	・周遊船の発着所になって欲しい ・駅に近いので、交通便の1つとして(バスの代わりなど)
アクセス拠点	・公園や大学へのアクセスの拠点となる川の駅
くつろげる場所	・のんびりくつろげる駅
お店のある川の駅	・小さなお店とかあったらいいなあ

1 2) 万代中央ふ頭の起点終点は、どうだったか

問12では、今回のワークショップで、万代中央ふ頭を起点終点としたことがどうだったかについて回答を促した。

回答者12名中、とても良かった50% (6名)、良かった42% (5名)と、回答者の92%が、万代中央ふ頭の起点終点は良かったと思っていることが伺える。



1. とても良かった(6名)
2. 良かった(5名)
3. わからない(1名)
4. あまり良くなかった(0名)
5. 良くなかった(0名)

1 3) 問12で良かったと回答した人 → 何が良かったか

問13では、問12で、万代中央ふ頭を今回のワークショップの起点終点にして良かったと思うことについて記述回答を促した。

表7 万代中央ふ頭が起点終点で良かったと思うこと

キーワード	記述回答(要約)
駐車場があること	・駐車場があるところ(3名)
スペースがあること	・スペース的に ・広々としている ・イベントの集合場所として、スペースが活用できる
周辺景観が良いこと	・景色が良い(2名) ・海が近くなので、気持ちがいい ・川からの眺めで徳島の良さを再発見でした
交通の便がよい	・交通もok
安心できること	・イベントだけを考えると、周りに人が少なく、安心できる
日陰があること	・倉庫の日陰でゆっくりできる
その他	・皆さん親切に案内して下さり感謝です ・川の駅をするならば、他に何があるか周知する必要がある

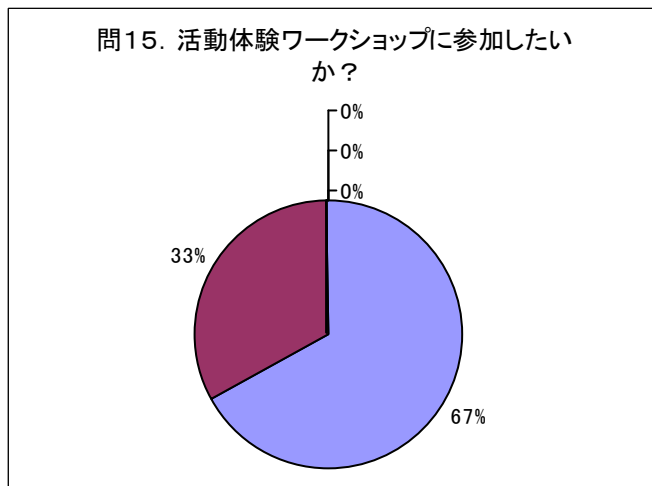
1 4) 問12で良くなかったと回答した人 → 何が良くなかったか

問14では、問12で、万代中央ふ頭を今回のワークショップの起点終点にして良くなかったことについて回答を促したが、良くなかったと回答した人がいなかったため、ここでは回答が得られなかった。

15) 団体が連携したWSに参加したいか

問15では、今回のワークショップのように、ひょうたん島で活動している各種団体の連携により行われる活動への参加の意向について回答を促した。

回答者12名中、是非参加したい67%(8名)、都合がつけば参加したい33%(4名)と、回答者の100%が、今後、今回のような団体等が連携した活動に参加の意向があることが伺える。

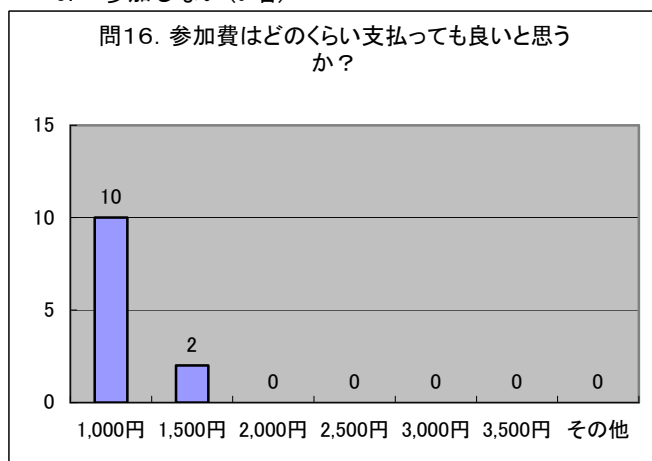


1. 是非参加したい(8名)
2. 都合が付けば参加したい(4名)
3. わからない(0名)
4. あまり参加したくない(0名)
5. 参加しない(0名)

16) 参加費としてどのくらい支払うか

問16では、問15で、参加の意向があると答えた人に、参加費について回答を促した。

回答者12名中、10名が1,000円(今回の昼食負担金と同等)、2名が1,500円(今回の昼食代相当)と、参加費については、今回の昼食代程度までの金額を望んでいることが伺える。



17) 今回のWSへの感想

問17では、今回の活動体験ワークショップへの感想等について記述回答を促した。

表8 今回の活動体験ワークショップへの感想等

キーワード	記述回答(要約)
子どもと楽しめた	<ul style="list-style-type: none"> ・1日孫と楽しく過ごせました ・子どもと制作活動ができて楽しかった ・親子で楽しく参加することができた
充実した内容	<ul style="list-style-type: none"> ・盛り沢山でとても楽しかったです ・親子で参加でき、内容もとても充実していて大満足でした
ひょうたん島再発見	<ul style="list-style-type: none"> ・クルーズがとても気持ちよく、船から見る市内の風景の素晴らしさを再発見しました
川(水辺)を楽しむまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・川を楽しむまちづくりをもっと進めて欲しいです ・水辺で楽しめるまちづくり
スタッフの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの方々の気配りが行き届いていた ・スタッフの方がとても丁寧に対応して頂いたのが良かったです ・子供がケガをしましたが、丁寧な対応がとても嬉しかったです
改善意見	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント後に子供達から、インタビュー形式で生の言葉を聞いて欲しい ・川の駅のことについて、もっと考える時間や議論ができれば良かった
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・あとどれ位徳島に住めるか分かりませんが、もっと知りたいし体験したいなと思いました ・ありがとうございました ・お世話になりました

18) 改善が必要なところ

問18では、今回の活動体験ワークショップの改善点について記述回答を促した。

表9 今回の活動体験ワークショップの改善点

キーワード	記述回答(要約)
時間設定	<ul style="list-style-type: none">・時間をもっとゆったりとして欲しい・1つ1つの時間が短くて、(特に食事)少し忙しかった
参加呼びかけ	<ul style="list-style-type: none">・参加の呼びかけを、もっと多くの人知れるようにすることが必要ではないか
トイレ休憩	<ul style="list-style-type: none">・トイレ休憩の案内がなかったので、少しあわてました
その他	<ul style="list-style-type: none">・本日は集合に遅れまして、本当にご迷惑をお掛けしました・ありがとうございました・特になし

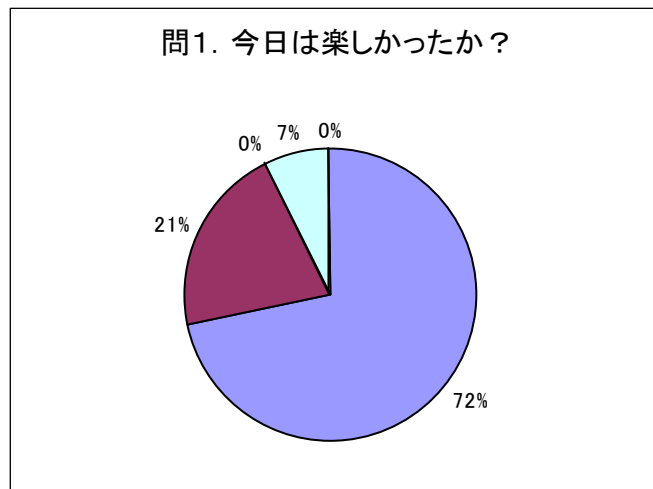
3. アンケートまとめ（子ども用）

1) 今日は楽しかったか

問1では、ワークショップが楽しかったかどうかについて回答を促した。

回答者 14 名中、とても楽しかった 72% (10 名)、楽しかった 21% (3 名) と、回答者の 93% が楽しく参加できたことが伺える

あまり楽しくなかったと答えた子どもが 1 名いたが、問2において、立体作品をつくったことに○印を入れていることから、ワークショップ全てに不満を持っているのではないことが伺える。

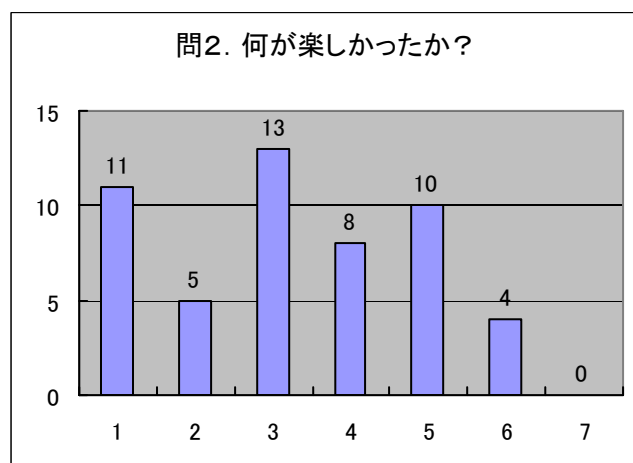


1. とても楽しかった(10名)
2. 楽しかった(3名)
3. わからない(0名)
4. あまり楽しくなかった(1名)
5. 楽しくなかった(0名)

2) 何が楽しかったか

問2では、ワークショップの楽しかったことについて複数回答を促した。

回答者 14 名中、立体作品をつくったこと（協力団体：アクア・チッタ）13 名、周遊船に乗ったこと（協力団体：新町川を守る会）11 名、大学生のお兄さんやお姉さんと遊んだこと（協力団体：四国大学フレンドリーキッズサークル）10 名、お昼ご飯（協力団体：新町川を守る会・徳島県商店街組合連合会青年部）8 名、船で案内してもらったこと（協力団体：とくしま観光ガイドボランティア会）5 名となっており、各団体によるイベントへの評価が高いことが伺える。



1. 周遊船に乗ったこと(11名)
2. 船で案内してもらったこと(5名)
3. 立体作品をつくったこと(13名)
4. お昼ご飯(8名)
5. 大学生のお兄さんやお姉さんと遊んだこと(10名)
6. お父さんやお母さんと一緒に遊べたこと(4名)
7. その他(0名)

3) 船に乗ってよかったところ

問3では、船に乗って良かったところについて記述回答を促した。

表 10 船に乗ってよかったところ

キーワード	記述回答（要約）
景色が良かった	・景色が良かった ・いつも見えない景色が見えたこと ・お家が見れて良かった
船に乗ったこと	・あまり船に乗ることがないので、乗れて良かったです ・船が普通に乗るよりもゆっくりで、とっても良かった ・船の一番前に乗れたこと
風が気持ちよかった	・風が当たって気持ちよかった(2名)
波が気持ちよかった	・波が気持ちいい！！
川の中が見えたこと	・クラゲや魚が見えたこと ・クラゲが見えたところ
ひょうたん島一周	・暑かったけど、瓢箪島を船でまわったこと ・いろんな所に行けた

4) 川の近くでのお昼ご飯では何が美味しかったか

問4では、両国橋袂ポンツーン（浮き桟橋）での昼食で、美味しかったものについて記述回答を促した。

表 11 お昼ご飯で美味しかったもの

キーワード	記述回答（要約）
一夜干しの魚	・魚が美味しかった(2名)
お味噌汁	・お味噌汁(4名)
徳島産材のサラダ	・フィッシュカツ ・鶏肉
飲み物	・ジュース
デザート	・イチゴのチーズケーキ(9名)

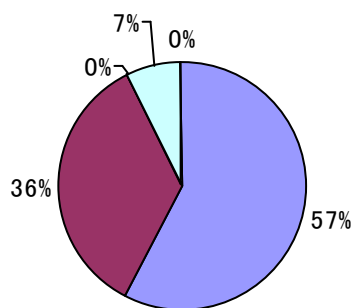
5) また参加してみたいか

問5では、今回の活動体験ワークショップのような活動があれば、来てみたいかどうかについて回答を促した。

回答者14名中、ぜったい来たい57%(8名)、来てもよい36%(5名)となっており、回答者の93%が、参加の意向があることが伺える。

あまり来たくないと回答した1人は、問1であまり楽しくなかったと回答した子どもであるが、問2では、立体作品をつくったことが楽しかった、問4では、デザートの一ツゴのケーキが美味しかったと答えており、また問6では、今度来るときにどんな遊びがあればよいかとの問いに対して、魚の観察と答えるなど、あまり楽しくなかったのであまり来たくないと答えているが、プログラム次第では、参加してみたいという気持ちの表れではないかと推察される。また、この子どもは、船酔いをして午後からの参加に難色を示していた子どもであることが伺える。

問5. また、参加してみたいか？



1. ぜったい来たい(8名)
2. 来てもよい(5名)
3. わからない(0名)
4. あまり来たくない(1名)
5. もう来ない(0名)

6) 今度はどんな遊びがあったら良いか

問6では、今度、参加するときには体験してみたい遊びについて記述回答を促した。

表 12 体験してみたい遊び

キーワード	記述回答（要約）
1日単位の体験	・もっと長くて(約1日単位)もっとゲームがあったらいいなと思いました
動きのある活動	・かくれんぼ(2名) ・クイズラリー ・宝探し ・しっぽとり ・ブランコ
川を使った活動	・釣りがしたい(3名) ・漁船に乗って魚を捕りに行く体験 ・ヨットに乗る体験 ・魚の観察
作品づくり	・立体作品を作ったように、何かを作る遊び ・飛行機の模型を作りたい
中央公園での活動	・徳島公園で遊ぶ(夏は花火)
その他	・テレビゲーム(wii)

4. アンケートまとめ（協力団体用）

1) 全体の取り組みで良かったところ

問1では、今回のワークショップでの全体の取り組みで良かったところについて、記述回答を促した。

表 13 今回のワークショップでの全体の取り組みでよかったところ

キーワード	記述回答（要約）
親子で川の駅体験	<ul style="list-style-type: none"> ・天気と気温の状態によってだいぶ違ってくると思うが、親子で参加する形をとったのはいい点である ・子供を対象としたところ→小さいうちから川に興味を持ってもらえるようになる ・親子で図工作をするなど、家族の仲が深まるイベントを通して、川の駅を体験できたところ ・親子で参加できるイベントの連鎖で、1日遊べるのは良い ・子供たちの笑顔が見られて良かった
団体と連携	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な団体と関係が持てたこと ・水辺のまちづくりを推進する団体が、それぞれの活動を見せたところ ・各活動団体との連携
特徴発見と活動方法の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回WSを経て、体験することで、実際の活動方法が考えられる点があったこと ・利用体験をできたこと ・ご飯を食べたり、遊べたりと各駅で特徴があったところ ・ロケーションが良く、川や海などの水辺に関する食材を提供することで、全体の雰囲気作りにつながった
プログラム構成	<ul style="list-style-type: none"> ・クルーズとひょうたん島工作がおもしろい ・川周遊→WS→と実際のフィールドを感じながら、WSを出来ることがより体験として、記憶に残ると感じた ・日常生活では経験できない、船を使ったコンテンツを子供と親と一緒に取り組むこと ・多くのコンテンツがあって、充実していた
昼食	<ul style="list-style-type: none"> ・棧橋での昼食(3名) ・徳島の名産が食べられてよかった。美味しかった(10名) ・魚を選んで焼きたての干物が食べられたこと(2名)
気候（開催時期）	<ul style="list-style-type: none"> ・お天気が良くて気持ちよかった(2名) ・季節が良かった
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフのきめ細かいケアが、行き届いていた

2) 今回のWSの改善点

問2では、今回のワークショップの改善点について、記述回答を促した。

表 14 今回のワークショップの改善点

キーワード	記述回答（要約）
サインの設置	<ul style="list-style-type: none"> ・サイン(看板) → 「やっていますよ」っていう感じが少ない
楽しさの演出	<ul style="list-style-type: none"> ・クルージングの間に一度か二度下船してゲームか何かを入れて、もっと遊び、楽しさを演出してはどうか
時間	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し余裕のあるタイムスケジュールだと良かった(9名)
テーマと雰囲気	<ul style="list-style-type: none"> ・一貫したテーマと、親もテンションが上がってしまうような、イベントに欠けていた ・雰囲気作り
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者をもっと増やし、取組みを幅広く知ってもらうこと
暑さ対策等	<ul style="list-style-type: none"> ・雨天時や暑さ対策
マイク	<ul style="list-style-type: none"> ・説明などが聞こえにくいところがあったので、マイクを用いると良いと思う

3) 川の駅ネットワーク構想に必要なこと

問3では、川の駅ネットワーク構想に必要なことについて、記述回答を促した。

表 15 川の駅ネットワーク構想に必要なこと

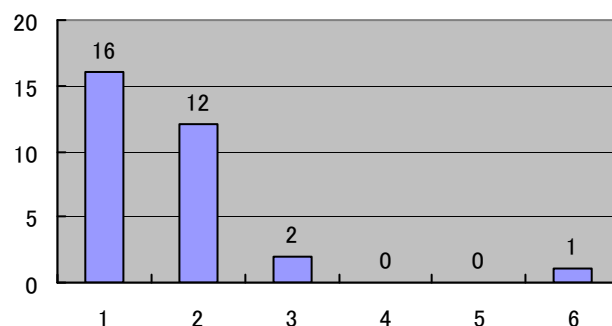
キーワード	記述回答(要約)
人の集まる仕掛け	・川の駅、人の駅のように人の集まる仕掛け ・もっと利用しやすくする
継続活動	・地道でも長く続くこと ・関係する団体の継続的な取り組み
団体の連携	・各活動団体との連携が大切 ・他の団体との連携
川の駅周辺整備	・駅自体の設置場所と、設置場所近辺の楽しい設備の整備 ・乗り場周辺の駐車場、駐輪場 ・乗降の安全・安心のための整備 ・船を利用するための休憩場所が必要 ・各駅ごとに広く市民が楽しめるもの考えた整備が必要
安全な乗降	・お客様だけで安全に乗り降り出来るような設備 ・安心、安全に乗降できることが大切
川との関わりを提供	・いつでも乗降できる棧橋の設置をし、川との係わりを提供していく事が必要
川をきれいに	・川をきれいにする
予算確保	・ハード整備に必要な予算の確保
運営主体と運営のための施設	・各駅の運営主体とハコモノの設置 ・駅に管理する人が必要
市民の気運	・市民の気運の盛り上がり ・オリンピック招致のように、皆の盛り上がりが出来ればいいと思う
広報	・いろんな人に乗ってもらえる様に広報すること ・広報活動を積極的に行っていくこと ・川の駅をもっと知ってもらう
常設化に向けた仕組み	・定期的に開催して、常設化出来る仕組み作りが必要 ・楽しめるコンテンツを持った駅が増えていく事が大事 ・定期的なイベント開催や情報開示 ・ツアー性や、アミューズメント性が必要
時間が必要	・たくさんの時間が必要だと思います

4) 他の活動団体と連携したいか

問4では、川の駅ネットワークを構築する上で、他の団体と活動連携したいかどうかについて、複数回答を促した。

回答者25名中、無回答1名を除いて、24名中の16名が多くの団体と活動連携したい、12名がテーマに沿って活動連携したい、2名が条件等を整理した上で連携したいと答えており、無回答の1名以外は、何らかの形で、他の団体と活動連携したいと思っていることが伺える。

問4. 今後、川の駅ネットワークを構築する上で、他の団体等と活動連携をして行きたいと思うか？



1. 多くの団体と活動連携したい(16名)
2. テーマに沿って活動連携したい(12名)
3. 条件等を整理した上で連携したい(2名)
4. 活動連携はあまり必要だと思っていない(0名)
5. その他(0名)
6. 無回答(1名)

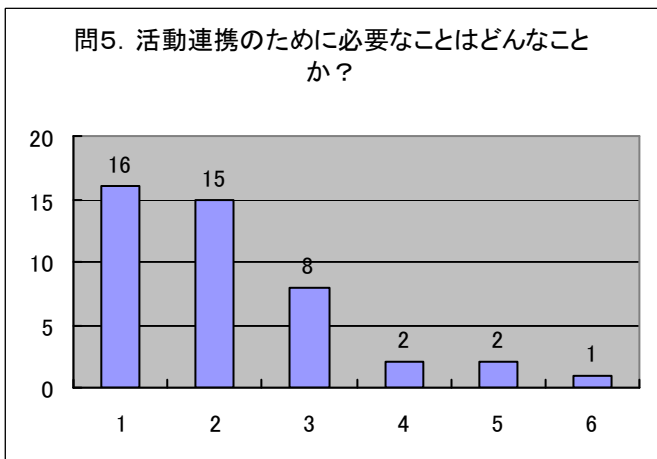
5) 活動連携に必要なこと

問5では、問4で活動連携したいと答えた人に、活動連携に必要なことについて、複数回答を促した。

回答者 25 名中、無回答の 1 名を除いて、24 名中の 16 名が団体等の活動内容の共有、15 名が活動連携するための場づくり、8 名が調整機能を持った組織、2 名が活動連携のための団体等の調査・募集が必要であると答えている。

また、その他意見として、「情報整理とその共有」、「目的等目指す指針の共通認識」といった回答があった。

これらより、各団体の活動内容や各団体の持つ情報を整理し、各団体が一同に会して、川の駅を目指す方向の検討を行い、それを全体で共通認識することが必要とされていることが伺える。



1. 団体等の活動内容の共有(16名)
2. 活動連携するための場づくり(15名)
3. 調整機能を持った組織(8名)
4. 活動連携のための団体等の調査・募集(2名)
5. その他(2名)
6. 無回答(1名)

6) 自分の団体が川の駅ネットワークに貢献できること

問6では、今回のワークショップに協力いただいた団体が、今後、川の駅ネットワークに貢献できることについて記述回答を促した。

表 16 川の駅ネットワークに貢献できること

キーワード	記述回答(要約)
船の運航	・船の運航
ガイドボランティア	・観光ガイド団体なので、この視点からの貢献は大いにできると思われる ・ガイドボランティアとして、川の駅を拠点とした案内もできると思う ・ガイドをすることにより、川やその地域に興味を持ってもらう
川の駅の検討	・一緒に川の駅について考えていくこと
環境整備	・環境整備(ゴミ排除) ・万代中央ふ頭における川の駅設置に向けた環境づくり
情報発信	・ホームページ等による、情報紹介 ・市民への周知
港湾施設の調整	・港湾施設を利用する際の調整
活動団体との調整	・万代での活動団体との調整
施設整備	・将来的(イメージや計画が決定した後)にベンチや休憩場所(屋根付き)の設置
講座やWS等の開催	・教室や講座の開催により、連携ポイントへの参加 ・いつ来ても何かやっている、というのが理想ですが、WSを中心とした体験できる内容
団体活動の場づくり	・水辺のまちづくりを行う団体の活動の場づくり
子どもや親子の交流の場づくり	・子どもと交流や楽しませること(7名) ・親子で楽しめる遊び(2名)
ボランティア	・必要に応じたボランティア活動(4名)
清掃	・掃除をしてきれいにする
二次的つながり	・二次的つながり → 商店街への集客もかねる

7) 所属団体と氏名

問7では、今後、川の駅ネットワークの構築において、協力いただける場合について、所属団体名と個人名について、記述回答を促した。

アンケート回答者 25 名全員の所属団体と氏名を記載いただいた。

ここでは個人名は、記載しないが、アンケート回答の団体名と人数を以下に示す。

表 17 川の駅ネットワークに協力いただける団体名とその人数

アンケート回答の団体名	回答者の人数
NPO法人新町川を守る会	2名
とくしま観光ガイドボランティア会	3名
万代中央ふ頭にぎわいづくり協議会	4名
NPO法人アクア・チッタ	3名
徳島市市民活力開発センター	1名
四国大学フレンドリーキッズサークル	11名
徳島県商店街振興組合連合会青年部	1名